

あんせい	ご	こく	こくじょうやく
安政	の	五か国	条約

- ・アメリカ総領事〔①〕は通商条約締結を要求
- 老中〔②〕は認める
- 朝廷が反発
- ・大老〔③〕の対応
- 勅許を得ないまま
- 1858年〔④〕に調印
- 1860年 勝海舟らが〔⑤〕で渡米、批准書を交換
- オランダ、ロシア、イギリス、フランスとも通商条約を結ぶ
- (〔⑥〕)
- ・日米修好通商条約の内容
- (1)〔⑦〕・〔⑧〕・〔⑨〕・〔⑩〕・〔⑪〕を開港
- のちに神奈川は〔⑫〕
- 兵庫は〔⑬〕に変更
- (2)江戸・大坂の開市
- 〔⑭〕が設定され自由貿易が開始
- (3)日本における外国人の〔⑮〕承認
- (4)日本の〔⑯〕の欠如(協定関税の設定)
- 日本側に不利な内容

開港の影響

- ・初期の貿易の内容
- 〔⑰〕が中心
- 〔⑱〕との貿易が中心
- 輸出品：1位〔⑲〕 2位 茶 3位 蚕卵紙
- 輸入品：1位〔⑳〕 2位 綿織物